令和３年３月８日

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園
園長　佐藤恒次

学校関係者評価委員会による評価結果について

令和３年２月１８日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

令和２年度教育活動に対する学校評価

１．幼稚園の教育目標　　心豊かでたくましい子
２．本年度の重点目標　“５つのいっぱい”と“育てたい１０の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
３．自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

幼稚園経営　　A　はい　　B　だいたいあてはまる　　C　あまりあてはまらない　　D　いいえ

	内　　容	評価員	職員
1	園の教育理念や教育方針を理解している	A	A
2	活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している	A	B
3	相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている “廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している	A	A
4	子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ビオトープ”“広場”などの自然体験を通した活動を積極的に取り入れている	B	B
5	元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている	A	A
6	食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている	A	A
反省	・廊下を歩く、部屋から飛び出さないなど、思いやりのある行動がとれるよう張り紙をしたり、看板を置いたりしたことで、子ども自身で気をつけようとする様子が見られた。年少児については、まだ走ってしまう子がいるので声をかけて行く必要がある。 ・あいさつは声をかけられないとできない子もいるので、今後も意識して促していきたい。		
評価	・園に来た時、こども達から元気なあいさつが聞かれる。気持ちの良いあいさつができているので、A 評価で良いと思う。 ・昨年より、先生方の評価が上がっているので、意識が高くなってきていると思われる。また、頑張っている証拠だと考えられる。		
課題	・あいさつについては、今後も保護者に呼びかけていく必要がある。		

保育の計画性

	内　　容	評価員	職員
1	子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている	A	B
2	保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている	A	A
反省	・今年度はコロナの影響もあり、外部との関わりや提供する制作もなかったため、外の活動（農園・広場・戸外あそび）内の活動（モンテッソーリ教育・制作）などの活動がとても充実し、ゆとりをもって保育を進めることができた。 ・廊下の掲示物を充実させていることで、こども達の興味が広がっていると感じる。今後も季節や、意識させたいものなどを工夫して貼りながら関心をもてるようにしていきたい。		
評価	・今年度は、出来ない行事等もあったと思うが、工夫をしながら頑張っていたと思う。コロナ対策をしながらの保育はとても大変だったと思う。		
課題	・今後も、できる事を考えながら、保育を行っていきたい。 ・モンテッソーリ教育などを充実させて、ちどり幼稚園らしく取り組んでいってほしい。		

保育の在り方・幼児への対応

	内　　容	評価員	職員
1	子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、充分な配慮をしている	A	B
2	子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている	B	B
3	教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している	B	B
反省	・職員同士の共通理解をもてるように、職員会議を開いて報告をしたり、情報交換をとったりしながら気にかかる子への対応を考えてきた。これからも情報交換をしながら、子ども達に成長を見守っていきたい。		
評価	・先生方の評価がコロナの影響で低いと感じる。園内・バスなどの消毒を毎日行い、十分な配慮がされていると思う。頑張ろうという気持ちの表れがこの評価になっていると思うので評価委員もＢにします。		
課題	・教師同士の話し合いは時間がなくできないことも多いと思うが、努力が必要なので頑張ってほしい。		

教師としての資質や能力・良識・適正

	内　　容	評価員	職員
1	自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている	A	A
2	組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている	A	A
3	保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている	A	B
反省	・子ども達が興味を持ったことを保育に取り入れたり、コーナーを作って実体験をさせたりすることで、楽しむことができた。これからも子ども達が興味・関心をもって活動できるような計画をたてていきたい。 ・職員一人ひとりが、それぞれの良いところを発揮しながら保育できるようにしていきたい。		
評価	・保育についてはもう少しできるのではと感じているのだと思う。各部屋や、廊下などの掲示も工夫されていて、とても好印象を受ける。 ・昨年度より、先生方の評価も上がっているので、高い評価で良いと思う。		
課題	・視野を広げ、情報をとるための努力・行動をする。		

保護者への対応

	内　　容	評価員	職員
1	園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている	A	B
2	情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している	A	A
3	“親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている	A	A
反省	・連絡帳を活用して子どもの様子を伝え、クラスだよりや掲示物で様子が分かるようにしてきた。保護者の意見を聞く場が少ないので、これからは直接話かけて様子を伝えていき、保護者の声も聞けるよう努力をしていきたい。		
評価	・国の違う方への対応に努力が見られる。 ・おたより、クラスだより、ちどりっこだより、モンテッソーリ教育だよりなど園の発信をしているので分かりやすい。		
課題	・国の違う方への対応はとても大変だと思う。言葉の壁があるので変換機を購入し、利用すると良い。		

地域の自然や社会とのかかわり

	内　　容	評価員	職員
1	幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている	A	B
2	子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのものとして、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している	B	B
反省	・コロナの影響であまり地域の方との関わりがなく残念であった。その中でも保育予定を工夫し、学年によっては出かけてお世話になり、感謝の気持ちを持つことができた。 ・農園活動は地域の方とのつながりもある為、続けていきたい。 ・教師が見本となるように、進んであいさつをしていきたい。		
評価	・幼稚園が学校とのつながりを意識してくれているので、スムーズに学校に通えている。 ・モンテッソーリ教育を受けたこども達がどのように成長しているのかを聞ける機会があると良い。 ・今年度は、仕方のないところがたくさんあると思う。		
課題	・小学校での教育内容を知るための取り組みや、園での教育の目的を小学校に理解してもらうための幼小の連携を図りたい。		

研修と研究

	内　　容	評価員	職員
1	研修会や研究会には自己課題を持って参加できた	B	B
2	常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持っての研修・研究を重ねた	B	B
3	モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した	A	B
4	幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ	A	B
反省	・モンテッソーリ教育活動が保育時間以外でも行えるように、自由時間や食後などを使ってすすんでやれるよう見守ってきた。その為集中力が高まりとても良かった。今後も自分でやりたい気持ちを大切にしていきたい。 ・自己課題を早めに見つけ挑戦していきたい。		

評価	・モンテッソーリ教育は、本当に頑張ってくださっていると思う。 ・先生方の評価は、低いが、子どもたちの成長に現れているので、高くても良いと思う。 ・今年度は研修会がなく、評価をつけるのが難しかったと思うが、今後も頑張ってほしい。
課題	・さらに研究を重ね、より良い教育ができるようにしていく必要がある。 ・モンテッソーリ教育を職員が学び、さらに子ども達に深めていく。

その他

反省	・年齢が低い程、対応する人数が必要となるので、しっかりとあそびの環境を整えていく中で繰り返し気を配り、見届け、見守っていくことが必要だと思う。 ・日本語を話せない子どもに対して、園だけでなく家でもなるべく日本語で話してもらいたいことを伝えていきことばの壁を少しでもなくしていきたい。
評価	・幼稚園は、集金を子どもが集金袋に入れて、提出しているようだが、今後見直し、検討が必要だと思う。学校関係と同じように引き落とし又は、電子決算などに変えていくべきだと思う。 ・外国の方との会話が少しでもスムーズにいくように、変換機を購入し対応してほしい。